

小千谷商工会議所 ヒアリング

調査日 : 平成 16 年 11 月 9 日 (火) 13:00~14:00
班 : 避難マネジメント・経済調査班 (畑山・梶谷)
分類別 : 被災状況、復旧・復興状況
キーワード別 : その他

調査結果

- ・ 小千谷商工会議所 星野正樹事務局長に対応頂いた。
- ・ 小千谷では、市とは別に独自の調査を行っている（市は、県から配布された参考用フォーマットを用いた全事業所調査を行っている）。2つの工業団地に入居する 19 件の事業所に直接ヒアリングを行い、17 件から直接被害の状況について情報を得ている（別途資料参照）。金額まで表示されているが、この値の公表は暫定値のため不可であり、何社中何社が影響を受けているというような表現を使って欲しいとのこと。
- ・ 現在 1044 件の事業所に直接被害に関する郵送調査を実施しており（10 日締め切り、調査票は入手済み）、200 件の回収が現在までであった。集計はまだ行っていない。
- ・ 精密機械系のストップが大きな懸念事項となっている。競争産業であり、顧客の長期的な喪失に繋がりがかねない。
- ・ 錦ごいに関しては、被害の大きさをあまりつかんでいない。
- ・ 米菓も 4 社ほどあるが、あまり被害の大きさをつかんでいない。
- ・ 酒造も 2 社ほどあるが、あまり被害の大きさをつかんでいない。
- ・ 建設業界は上昇傾向。

(間接被害)

- ・ 直接被害のため撤退するスーパーがあるとのこと。そのまわりにある卸問屋などに影響が広がる。
- ・ 病院が被害を受けると、その周りの小売店も影響を受けている。
- ・ 自社ブランドをもつ機械製造業がかなりあるが、今回の被害による生産活動の中断で影響がある可能性がある。
- ・ 間接被害などに関するヒアリングについては未定であるが、もし行くとすれば、我々のような専門家にチェックをしてもらえるとありがたいとのこと。
- ・ ライフライン途絶などへの企業・住民の対応については、この地域には井戸が多く、またプロパンガスを使っているところも多く、被害が軽減された可能性がある。しかし、他地域の工場での代替生産などのその他の対応についてはつかんでいない。調査を行うことについては興味がある。